

## 宮古発

### 病院を津波避難施設に

宮古市大通にある5階建ての後藤泌尿器科皮膚科医院が市から津波避難施設第1号の指定を受けました。医院は市役所と宮古駅の間であり、震災では1階まで浸水したものの屋上に自家発電装置や給水タンクを備えていて患者や住民およそ200人を受け入れました。市はこうした津波避難施設の指定を順次進めていく方針で各施設には水や携帯トイレ、防寒着を配備する予定です。(1/25 ニュースエコー)



## 大船渡発

### 復興フォト&スケッチ展

震災からの復興に向かうまちの風景を写しだした復興フォト&スケッチ展が大船渡市のショッピングセンター「サン・リア」で開かれました。これは復興事業に携わるUR都市機構が開いたもので、岩手など被災3県の写真と絵・合わせて349点が展示されました。(1/27 ニュースエコー)



## 釜石発

### 釜石で霊場めぐり

寂れてしまった「釜石八十八カ所」と呼ばれる霊場を知ってもらおうと市民などが参加して霊場巡りが行われました。これは四国八十八カ所の写し巡礼地として60年前



に市民が作ったもので山中に八十八体の石仏が建立されています。霊場巡りは京都から釜石に任期付き職員

として赴任している村上浩継さんが荒廃してしまった霊場の姿に心を痛めSNSなどで霊場巡りを呼びかけ実現しました。参加した20人の市民はそれぞれ手を合わせていました。村上さんは石仏の修理にも取り組みたい考えで、3月初めに修理ツアーを行うことにしています。(1/28 ニュース)

## 陸前高田発

### 新庁舎建設で議論

震災で全壊した市役所庁舎の再建場所を巡って、陸前高田市議会の復興対策特別委員会が議論を行いました。安全性、利便性、費用の観点などから様々な意見が出され2月中の集約は厳しい状況です。市が示している建設候補地は、「現在の仮庁舎の場所」「高田町の高台」「移転する予定の高田小学校の跡地」の3か所で高田小の跡地は校舎の増改築か新築の2つの案が盛り込まれています。(1/30 ニュースエコー)



## 大槌発

### 仮設店舗の使用期限

大槌町では、6か所ある仮設店舗のうち早い所は今年3月に5年間の使用期限を迎えます。このため町は店舗の再建を促すため、支援制度の説明会を開きました。具体的には震災前の債務の負担を軽くする制度や町が独自に行う補助などについて説明されましたが、区画整理が終わらないため、再建場所が決まっていない事業者からは焦りの声が聞かれました。(1/30 ニュースエコー)



## 大船渡発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

大船渡「FMねまらいん」の田村華恵さんが、「三陸・大船渡 第20回つばきまつり」について伝えてくれました。これは、市の花である椿の開花時期に合わせ、世界13ヶ国から約600種の椿がある「世界の椿館・基石」で毎年開催されているものです。つばきまつりは3月20日まで行われますが、今年は3人の椿娘たちの握手会や、椿スイーツの販売など毎週様々なイベントを予定しているという事です。田村さんは、「満開の椿とおもてなしの心でお待ちしていますので、ぜひたくさんの方にいらしていただきたい」と話していました。(2/1)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122